

# 2016年3月期 決算補足資料

2016年5月12日  
日本ケミファ株式会社  
東証1部(4539)

## Contents

連結損益計算書概要	1
医療用医薬品概況(連結)①	2
医療用医薬品 主要品目の状況	
ジェネリック医薬品事業	
医療用医薬品概況(連結)②	3
ジェネリック医薬品 発売年度別売上推移	
医療用医薬品 薬効別売上構成推移	
財務状況の概略(連結)①	4
貸借対照表概略	
1株あたり情報	
財務状況の概略(連結)②	5
キャッシュ・フロー計算書	
設備投資等	
2017年3月期 連結業績予想①	6
連結損益計算書概要	
2017年3月期 連結業績予想②	7
医療用医薬品 主要品目	
ジェネリック医薬品事業	
2017年3月期 連結業績予想③	8
1株あたり情報	
設備投資等	



# 連結損益計算書概要

※1 2015年5月11日開示値

※2 返品調整引当金などの影響を差し引いております。

## 損益計算書概要

(百万円)

	2015年3月期		2016年3月期			2016年3月期業績予想		
	金額	構成比	金額	構成比	増減率	金額 <sup>※1</sup>	構成比	達成率
売上高	35,118	100.0%	35,602	100.0%	+1.4%	36,600	100.0%	97.3%
医薬品事業	34,168	97.3%	34,509	96.9%	+1.0%	—	—	—
その他	949	2.7%	1,092	3.1%	+15.0%	—	—	—
売上原価 <sup>※2</sup>	18,352	52.3%	18,803	52.8%	+2.5%	—	—	—
販管費	13,480	38.4%	13,653	38.3%	+1.3%	—	—	—
内、研究開発費	1,755	5.0%	1,889	5.3%	+7.6%	2,100	5.7%	90.0%
営業利益	3,285	9.4%	3,145	8.8%	△ 4.3%	2,800	7.7%	112.3%
経常利益	3,217	9.2%	2,945	8.3%	△ 8.4%	2,700	7.4%	109.1%
税引前当期純利益	3,093	8.8%	2,945	8.3%	△ 4.8%	—	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,899	5.4%	1,961	5.5%	+3.3%	1,700	4.6%	115.4%

## Highlights

### ● 2016年3月期決算概要

当期の連結売上高のうち、医薬品事業においては、ジェネリック医薬品(以降、「GE品」)が国の使用促進策の後押しを受け、引き続き医療機関向けの売上(自社販売)を伸ばしており、主力品の減収や同業他社向けの導出売上減収を補い、前期比+1.0%増収の345億円となりました。加えて、その他事業においても受託試験業務の受注が好調であったことから、売上高全体では同+1.4%増収の356億円となりました。

利益面では主力品の減収に伴う原価率上昇や、GE品の開発費と新規化合物探索に関する試験研究費の増加などにより、営業利益は同△4.3%減益の31億円、経常利益は同△8.4%減益の29億円、当期利益は法人税率の変更があったことなどにより同+3.3%増益の19億円となりました。

一方、通期の予想に対しては、売上高がほぼ想定通りの97.3%の達成率であったことに対して、費用面では、経費の厳格使用を徹底したことに加えて、GE品研究開発費の効率的な運用やNC-2500の追加フェーズ I 試験が翌期にずれしたことなどで販管費が抑えられたことから、営業利益は予想を上回る結果となっています。

### ● 医療用医薬品概況

医療用医薬品のうち、GE品については、薬局及びDPC病院向けの売上が伸びた結果、自社販売は前期比+9.3%の増収となりました。

また、同業他社向けの導出売上については、前期に制度改定に伴い受注が好調裡に推移した反動を受け減収を見込んでいた通り、輸出とあわせ同△30.6%の減収となり、受託も含めたGE品事業の売上高は302億円(同+4.6%増収)となりました。

一方、主力品は競合薬との競争激化に加えてGE品への置換が進み同△14.1%の減収となり、医療用医薬品全体の売上高は319億円(同+3.7%増収)となりました。

# 医療用医薬品概況(連結)①

※1 2015年5月11日開示値  
 ※2 当社グループで製造販売承認を有する品目の他メーカー向け売上  
 ※3 他メーカーからの受託製造による売上

## ■医療用医薬品 主要品目の状況

(百万円)

	2015年3月期		2016年3月期			(予想) <sup>※1</sup>	達成率
	金額	構成比	金額	構成比	増減率		
医療用医薬品(荷離)	30,800	100.0%	31,937	100.0%	+3.7%	32,510	98.2%
ジェネリック医薬品(荷離)	27,400	89.0%	29,016	90.9%	+5.9%	29,730	97.6%
内、自社販売	25,079		27,404		+9.3%	28,250	97.0%
内、導出 <sup>※2</sup> ・輸出	2,321		1,612		△ 30.6%	1,480	108.9%
アムロジピン	3,011		3,159		+4.9%	3,210	98.4%
ランソプラゾール	1,935		2,182		+12.8%	2,230	97.9%
リマプロストアルファデクス	1,509		1,487		△ 1.4%	1,500	99.2%
ラベプラゾール	1,595		1,737		+8.9%	1,850	93.9%
ドネペジル	1,704		1,712		+0.5%	1,720	99.6%
プラバスタチン	1,273		1,260		△ 1.0%	1,230	102.5%
ボグリボース	1,013		1,004		△ 0.9%	1,030	97.5%
その他	15,357		16,471		+7.3%	16,960	97.1%
主力品(荷離)	3,400	11.0%	2,920	9.1%	△ 14.1%	2,780	105.0%
ウラリット	1,975		1,723		△ 12.8%	1,660	103.8%
ソレトン	1,134		928		△ 18.2%	870	106.7%
カルバン	290		268		△ 7.5%	250	107.4%

## ■ジェネリック医薬品事業

(百万円)

	2015年3月期		2016年3月期			(予想) <sup>※1</sup>	達成率
	金額	構成比	金額	構成比	増減率		
ジェネリック医薬品事業	28,918	100.0%	30,243	100.0%	+4.6%	31,660	95.5%
ジェネリック医薬品(荷離)	27,400	94.8%	29,016	95.9%	+5.9%	29,730	97.6%
受託 <sup>※3</sup>	1,518	5.2%	1,226	4.1%	△ 19.2%	1,930	63.5%



## 医療用医薬品概況(連結) ②

### ■ジェネリック医薬品 発売年度別売上推移

(百万円)

	2015年3月期		2016年3月期		
	金額	構成比	金額	構成比	増減率
2009年3月期以前発売品目	15,246	55.6%	15,150	52.2%	△ 0.6%
2010年3月期発売品目	2,507	9.2%	2,697	9.3%	+7.6%
2011年3月期発売品目	2,462	9.0%	2,617	9.0%	+6.3%
2012年3月期発売品目	2,157	7.9%	2,331	8.0%	+8.1%
2013年3月期発売品目	1,447	5.3%	1,513	5.2%	+4.6%
2014年3月期発売品目	2,256	8.2%	2,761	9.5%	+22.4%
2015年3月期発売品目	1,322	4.8%	1,454	5.0%	+10.0%
2016年3月期発売品目	—	—	490	1.7%	—
合計	27,400	100.0%	29,016	100.0%	+5.9%

### ■医療用医薬品 薬効別売上構成比

	2015年3月期	2016年3月期
循環器官用薬及び呼吸器官用薬	31.6%	31.5%
消化器官用薬	17.8%	19.4%
代謝性医薬品	17.3%	16.1%
神経系及び感覚器官用薬	11.9%	10.8%
病原生物用薬	7.1%	7.0%
腫瘍用薬	1.9%	2.4%
その他の医薬品	12.4%	12.8%

# 財務状況の概略(連結)①

## ■ 貸借対照表概略

(百万円)

	2015年3月期	2016年3月期	
	3月末	3月末	増減
総資産	41,428	43,644	+2,215
ROA(総資産経常利益率)	7.9%	6.9%	△ 1.0P
純資産	15,626	16,041	+415
自己資本	15,620	16,033	+413
自己資本比率	37.7%	36.7%	△ 1.0P
ROE(自己資本当期純利益率)	13.1%	12.4%	△ 0.7P
流動資産	24,844	27,378	+2,533
流動負債	13,939	15,655	+1,716
流動比率(倍)	1.78	1.75	△ 0.03P

## ■ 1株あたり情報

(円)

	2015年3月期	2016年3月期		通期(予想) <sup>※1</sup>
	金額	金額	増減	
1株あたり当期純利益	47.45	49.91	+2.46	42.46
1株あたり純資産	390.01	409.97	+19.96	—
1株あたり配当金	10.00	10.00	—	10.00
連結配当性向	21.1%	20.0%	—	23.6%

※ 2015年5月11日開示値

## Highlights

### ● 貸借対照表

総資産は前期末から+22億円増加し、436億円となりました。資産の部については売上増収などに伴う売掛債権の増加に加え、長期預金からの振替による現預金増加の他、つくば工場3号棟実装投資並びにベトナムでの工場建設に伴い建設仮勘定も増加しております。

負債の部については売上増収による仕入債務の増加や、昨今の金利動向等を鑑み手形割引を休止し長期借入金へ転換したことで借入金および社債が増加しております。

自己資本比率は当期に自己株式の取得購入を6億円行っており、前期比△1.0ポイントの36.7%となりました。

## 財務状況の概略(連結)②

### ■ キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	2015年3月期	2016年3月期
	金額	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,438	2,450
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,072	△ 151
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 137	△ 935
現金及び現金同等物の当期末残高	5,791	7,135
フリー・キャッシュ・フロー	365	2,299

### ■ 設備投資等

(百万円)

	2015年3月期 金額	2016年3月期			
		金額	増減率	通期(予想) <sup>※1</sup>	費消率
設備投資額	1,710	1,172	△ 31.5%	1,000	117.2%
減価償却費	1,200	1,178	△ 1.8%	1,200	98.2%

※1 設備投資額予想 2016年1月29日開示値  
減価償却費予想 2015年5月11日開示値

### Highlights

#### ● キャッシュ・フロー計算書

営業活動によるキャッシュ・フローは、当期において前期並みの利益を確保したことなどから、ほぼ前期と同水準の24億円となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に日本薬品工業における機械設備等の購入による支出の一方で、定期預金の満期解約による収入があったためほぼ収支は均衡しましたが、前期は日本薬品工業つくば工場3号棟の設備投資額が大きかったことから前期比では増加となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローについては自己株式の取得やベトナムに設立した現地法人の完全孫会社化に係る株式取得により、△9億円となりました。

# 2017年3月期 連結業績予想①

## ■ 損益計算書概要

(百万円)

	2016年3月期		2017年3月期(予想)		
	金額	構成比	金額	構成比	増減率
売上高	35,602	100.0%	38,000	100.0%	+6.7%
医薬品事業	34,509	96.9%	—	—	—
その他	1,092	3.1%	—	—	—
売上原価 <sup>※</sup>	18,803	52.8%	—	—	—
販管費	13,653	38.3%	—	—	—
内、研究開発費	1,889	5.3%	2,200	5.8%	+16.4%
営業利益	3,145	8.8%	2,800	7.4%	△ 11.0%
経常利益	2,945	8.3%	2,700	7.1%	△ 8.3%
税引前当期純利益	2,945	8.3%	—	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,961	5.5%	1,850	4.9%	△ 5.7%

※ 返品調整引当金等などの影響を差し引いております。

## Highlights

### ● 業績予想

2017年3月期は薬価改定による単価引き下げの影響があるものの、GE品についてはこれまでの使用促進策に加え、外来後発医薬品使用体制加算の新設や一般名処方加算の見直しがおこなわれるなど、従来以上に幅広い医療機関を対象とした促進策も実施されることから、引き続き市場は拡大を続けると考えており、2017年3月期の連結売上高は当期比+6.7%増収の380億円を見込んでおります。

一方、利益面においては薬価改定の影響で原価率が上昇する他、GE品開発やNC-2500の追加フェーズ I 試験、探索研究などの研究開発費が増加することを見込んでおり、営業利益は同△11.0%減益の28億円と予想しております。

## 2017年3月期 連結業績予想②

### ■医療用医薬品 主要品目

(百万円)

	2016年3月期		2017年3月期(予想)	
	金額	金額	金額	増減率
医療用医薬品(荷離)	31,937	34,180		+7.0%
ジェネリック医薬品(荷離)	29,016	31,680		+9.2%
内、自社販売	27,404	30,080		+9.8%
内、導出・輸出	1,612	1,600		△ 0.8%
アムロジピン	3,159	3,060		△ 3.2%
ランソプラゾール	2,182	2,460		+12.7%
リマプロストアルファデクス	1,487	1,570		+5.5%
ラベプラゾール	1,737	1,740		+0.1%
ドネペジル	1,712	1,940		+13.3%
プラバスタチン	1,260	1,270		+0.8%
ボグリボース	1,004	1,040		+3.6%
その他	16,471	18,600		+12.9%
主力品(荷離)	2,920	2,500		△ 14.4%
ウラリット	1,723	1,500		△ 13.0%
ソレトン	928	740		△ 20.3%
カルバン	268	260		△ 3.2%

### ■ジェネリック医薬品事業

(百万円)

	2016年3月期		2017年3月期(予想)	
	金額	金額	金額	増減率
ジェネリック医薬品事業	30,243	33,040		+9.2%
ジェネリック医薬品(荷離)	29,016	31,680		+9.2%
受託	1,226	1,360		+10.9%

### Highlights

#### ● 医療用医薬品

医療用医薬品のうちGE品荷離につきましては、前葉の通り使用促進策による市場拡大が続くと想定し、当期比+9.2%増収の316億円を見込んでおります。

主力品については薬価改定の影響に加え、GE品への置換や競合品との競争激化から、3製品合計で同△14.4%減収の25億円を見込んでおります。

GE品も含めた医療用医薬品荷離全体では同+7.0%増収の341億円を見込んでおります。



# 2017年3月期 連結業績予想③

## ■1株あたり情報

	2016年3月期	2017年3月期(予想)	
			増減率
1株あたり当期純利益 (円)	49.91	47.08	△ 5.7%
1株あたり純資産 (円)	409.97	—	—
1株あたり配当金 (円)	10.00	10.00	—
連結配当性向	20.0%	21.2%	—

## ■設備投資等

	2016年3月期	2017年3月期(予想)	
			増減
設備投資額	1,172	2,900	+1,727
減価償却費	1,178	1,250	+71

(百万円)

本資料における将来の予想等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく弊社の判断や仮定によるものであり、リスクおよび不確実性が含まれております。したがって実際の業績等は予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## Highlights

### ● 1株あたり情報

2017年3月期は増収を見込む一方で薬価改定による原価率上昇や将来に向けた投資であるGE品や探索研究の開発費が伸びることなどにより、1株当たりの当期純利益は減少する見通しですが、株主還元を重視する考えから、配当金は過去3期と同額の10円を予定しており、配当性向は上昇する見込みです。

### ● 設備投資等

2017年3月期は需要が拡大する国内のGE品市場に対応するため、日本薬品工業つくば工場3号棟の設備を増強し、海外においてはベトナムでの工場建設も進めていくことから設備投資額は当期比約2.5倍の29億円を予定しております。

## 本資料に関するお問い合わせ先

日本ケミファ株式会社 広報室

電話 03-3863-1211(代表)

E-mail [IR@chemiphar.co.jp](mailto:IR@chemiphar.co.jp)